

第 3 回災害支援訓練

実施報告書

広域リサイクル事業協同組合

第3回災害支援訓練実施報告書 広域リサイクル事業協同組合

日 時：平成25年3月12日（火）8：10～12：10

場 所：①集合場所…小田原市諏訪原（トレープラスチック減容施設横）

②派遣場所…富水小学校、東富水小学校、報徳小学校、小田原市環境事業センター、扇町クリーンセンター

参加者：小田原市環境部4名、広域リサイクル事業協同組合33名

趣 旨：過去2回の訓練では、市と地元業者が災害収集の段取りについて十分に協議した上で応援を受け入れることとしてきたが、大規模災害の場合は情報が錯綜し、十分な情報が得られないことも想定される。また、主要幹線道路以外の優先順位の低い道路は復旧が遅れる可能性もある。災害収集は発災後3日以内を想定しているため作業に必要な情報を自ら集めることも考えられる。今回の訓練は災害収集の準備時点とし、作業現場（広域避難所と処理施設）の確認をするとともに、災害収集に必要な情報（道路状況など）を収集する。

内 容：平成25年3月12日（火）8時10分に発生した地震（震度7）の影響により、小田原市が被災し、市内の避難所設置による仮設トイレの汲取りと臨時ステーションのごみ収集、震災ごみ増加・道路事情悪化により家庭ごみの収集・運搬に支障をきたしているという想定のもと、災害応急対策を行う。作業現場（避難所及び処理施設）の確認をするとともに道路状況は逐次無線連絡、避難所設置状況は災害支援活動報告書の提出により報告する。

訓練概要：緊急連絡網による連絡訓練、応援要請から参集訓練、避難所への派遣訓練までを行う。

主な使用機材：

バキューム車 5台

パッカー車 7台

トラック・軽ダンプ 3台

仮設トイレ 8基

仮設テント（3m×3m）1張

車両看板 20枚

机 2台

パイプ椅子 6脚

ブルゾン（責任者のみ） 5着

交通誘導灯 2個

音響設備（ポータブルワイヤレスアンプ1機、拡声器 1機）

白板 1枚

非常食セット 33個

腕章 3個

タイムテーブル

8 : 10	地震発生（小田原市総合防災訓練）
8 : 30	組合員の安否確認。各市町村への応援要請の受入体制の有無を確認。
8 : 45	小田原市からの応援要請受理。
8 : 45	組合事務局から組合員へ応援要請及び出動要請。
10 : 00	全派遣班、集合場所に到着（小田原市諏訪原 トレープラスチック減容施設横） 司会進行 浅田理事（防災・技術担当） 開会挨拶 加藤副理事長 参加者紹介 訓練行程説明 小田原市から応援要請の内容説明 ・市内3箇所の広域避難所の設置とそれに伴う仮設トイレ汲取り、ごみ収集 の需要が見込まれる 班編成（作業班3班） 責任者会議（浅田統括、齋藤班長、小田原衛生担当者） 全体ミーティング ・市内状況説明 ・運行計画作成、作業指示
10 : 20	浅田統括より出動命令
10 : 30 ～11 : 20	バキューム車は扇町クリーンセンターに移動。市担当者から計量・排出方法の 指示を受ける。その後、班別に広域避難所へ移動。 塵芥車は班別に広域避難所へ移動。その後、環境事業センター内臨時集積所に 移動し、市担当者から排出方法等の指示を受ける。 移動の際、随時市内道路状況を報告
11 : 25	災害対策本部へ帰着、災害支援活動報告書を班長に提出。
11 : 35	訓練終了式 関係機関挨拶 小田原市環境部 井澤部長 主催者挨拶 鈴木理事長
12 : 10	訓練場所清掃、後片付け 解散

現地案内図

小田原市諏訪原地内



現地災害対策本部

訓練状況

開会



環境部と合流



全体ミーティング



訓練状況

広域避難所確認
写真は、東富水小



臨時集積所
小田原市環境事業セ
ンター中庭



クリーンセンター
環境部と合流



訓練状況

クリーンセンター
投入方法の説明



集合場所全景



訓練終了式



避難所の仮設トイレ、いくつ必要？

広域リサイクル事業協し尿、ごみ処理で小田原市を支援

大地震想定し災害訓練

パニック時の道路状況など情報収集



仮設トイレを荷台に載せ、避難所へと出発するトラック

参加者は目的地までの途中、道路の混雑状況や建物倒壊の有無など情報を収集。災害時には情報収集が難しく、パニックとなる恐れもあり、冷静に収集する作業が欠かせない。避難所では避難して

その後、参加者は車に非常食を積み込んで乗り込み、避難所に指定された市立清水、東富水、報徳3小学校のほか、市立南クリンセンターに向けて出発。参加者は目的地までの途中、道路の混雑状況や建物倒壊の有無など情報を収集。災害時には情報収集が難しく、パニックとなる恐れもあり、冷静に収集する作業が欠かせない。避難所では避難して

県西部を中心に県央から西側の地域、し尿処理業者で構成する広域リサイクル事業協同組合（鈴木茂代表理事、17社は13日、小田原市内で同市の災害支援合同訓練を実施した。組合メンバー約30人が参加し、災害時に避難所が必要となる仮設トイレの個数を確認したり、有事に想定される道路の混雑をシミュレーションしたりした。

想定は、午前8時に震度7の大きな地震があり、市のごみ処理し尿処理施設が被災。避難所や市内道路の状況確認、情報収集に対して組合の協力が求められる状況となった。訓練では事務局から加盟業者に参加の連絡を入れ、同日午前9時から小田原市環境事業センター隣の空き地（災害対策本部）に12社の関係者が集合。バック車やパキューム車で駆けつけた。統一して市環境部からの応援要請があり、対策本部では参加者を取り班、ごみ収集班にグループ分けし、担当する地域を割り当てた。今回の訓練は、先から無線で本部に連絡が入る体制を整えた点も特徴的。

また、仮設トイレの設置状況や必要個数、1日当たりで求められるごみ回収回数などを確認した。災害時、避難所に仮設トイレを設けるのは、市が担当するが、数不足りになった場合は同組合が補充する。また、実際に学校などの避難所に物資を届ける際、また、「想像を膨ら

また、災害時に起こり得るさまざまな事態を予測している。訓練は毎回テーマを定め、一つひとつ実施するのが重要」とし、こうした訓練の要請が市隣自治体からあれば、喜んで引き受けたという。広域的に実施していく意向も明かした。同組合と市による災害支援合同訓練は3回目。東日本大震災を受けて昨年に始まり、1回目は対策本部への参加、2回目は参加と避難所への車派遣だった。



発行所
小田原市栄町3-21-2
株式会社神静民報社
営業所
小田原市久野4502
☎ 0465-35-1888
FAX 0465-30-1888
無断転写禁止
定価1ヵ月2000円
定価1部 90円
http://www1.ocn.ne.jp/~sinsei-n/
sinsei-n@chive.ocn.ne.jp

市兵衛

～式場のご案内～

市兵衛会館
本館・別館
千代成
代成会館
メモリアルホール松田
TEL. 0465-83-2827



▲仮設トイレを積んだ車両。当日は民間業者12社が参加した。

市内のゴミ・し尿の収集センターに集合し、班に分かれて避難所に向かう訓練を行なった。「訓練を通じて防災計画の盲点を見直し、より具体的に対策を講じたい」と統括の浅田さん。今後も場所や内容を変えて開催する予定。

震災の教訓をいかして
トイレとゴミ処理問題
に備えて防災訓練
県西部のゴミ収集・廃棄物処理業者の組織「広域リサイクル事業協同組合」（鈴木茂理事長）と小田原市による合同防災訓練が、先月12日に小田原市内で行なわれた。災害時に悪化が予想される衛生状態から被災者の健康を守るため、昨年より定期的に開催している。当日は、地震発生で、市内のゴミ・し尿の収集センターに集合し、班に分かれて避難所に向かう訓練を行なった。「訓練を通じて防災計画の盲点を見直し、より具体的に対策を講じたい」と統括の浅田さん。今後も場所や内容を変えて開催する予定。



▲副理事長の加藤さん（右）と、指揮をつとめた浅田さん。

